

<概要>

- 5 月 13 日、中国で、中国・CELAC 閣僚級会合及びそのマージンで実施された中国とホンジュラスの閣僚会合が行われた。
- レイナ外務・国際協力大臣、モンカダ国防大臣、アルバレス人権大臣が 11 月の総選挙出馬に伴い辞任した。新たにブ外務・国際協力大臣、ベセーラ人権大臣が任命された。国防大臣はカストロ大統領が兼任する。
- コリウン投資会社による詐欺問題に関し、政府に救済を求める被害者による抗議活動が各地で発生している。28 日は、首都テグシガルパの大統領府周辺でも厳重警戒体制が敷かれた。

<本文>

1 外交

（１）中国・CELAC 閣僚級会合：政府発表及び関連報道振り

5 月 13 日、中国の北京で、中国・CELAC 閣僚級会合及びそのマージンで実施された中国とホンジュラスの閣僚会合が行われた。レイナ外務・国際協力大臣は、ホンジュラスが多国間主義、持続可能な開発、南南協力へのコミットメントをすることを再確認した。また、王毅外交部長との会談において、ホンジュラスと中国の関係は約 2 年間の協力関係を経て「非常に前向き」になっていると強調した。

（２）インド、カタール等ホンジュラス在外公館開設

5 月 15 日、レイナ外務・国際協力大臣は、インドのニューデリーで、在インド・ホンジュラス大使館の開館式に出席した。臨席したジャイシャンカル外務大臣は、カストロ大統領のこうした政策で両国の投資環境が好転することを強調した。また、カタールのドーハでは、レイナ外務大臣が同国のハンマーディー外務次官と共に大使館の開館式を祝った。

2 内政・経済

（１）米国下院での米国から他国への送金課税を含む財政改革法案可決

5 月 22 日、米下院で、米国から他国への送金に対する課税を含めた財政改革法が可決されたことについて、ガルシア外務次官は「（同法案可決は）冷や水を浴びせかけられたようだ。ホンジュラス人移民に対する打撃である。多くの人々が影響を受けるが特にホンジュラス人と国家経済への影響が大きい」と述べた。

（２）バスケス愛国党大統領候補に対する新たな起訴と家宅搜索

5 月 24 日、検察はロメロ・バスケス愛国党党首（元国軍参謀長、同党大統領候補）を資金洗浄の容疑で起訴し、同党首が国内に所有する住宅、別荘などに対して家宅搜索を行った。バスケス党首は、本年

1月6日に、検察が、2009年6月の内政混乱時のセラヤ擁護派による抗議活動に対する銃撃事件で1人が死亡した事件について、当時の国軍参謀長だった同党首を過失致死罪で起訴したが、同党首は保釈中に行方不明となった。

（3）外務大臣、国防大臣、人権大臣の交代

5月27日、カストロ大統領は自身のXポストでレイナ外務・国際協力大臣、モンカダ国防大臣、アルバレス人権大臣の交代について発信した。3大臣の辞任は11月の総選挙出馬に伴うもの。外務・国際協力大臣はハビエル・ブ・ソト駐米大使、国防大臣はカストロ大統領が兼任、人権大臣はジャーナリストのロンヒーノ・ベセーラ氏が任命された。

（4）コリウン投資会社による詐欺問題の続報と被害者による各地での抗議活動

4月に検察は、詐欺の疑いで投資会社コリウン（Koriun）社の家宅捜索を実施し、これを機に被害者への返金に十分な資産を保有していないという報道が相次いでなされた。同社本部のあるコルテス県チヨロマ市をはじめ全国6カ所の事業拠点の前で、被害者による抗議活動が断続的に発生した。5月28日、被害者らによる政府への救済を求めるデモ活動の可能性により、首都テグシガルパの大統領府周辺で厳重警戒体制が敷かれた。

＜主要経済指標＞

◇主要経済指標	2024 年	2025 年		
		2 月	3 月	4 月
インフレ率（前年同月比）	3.9	4.75	4.49	4.39
貿易収支（百万ドル）	▲6,671.4	—	—	—
輸出（百万ドル）	11,082.5	—	—	—
輸入（百万ドル）	17,753.9	—	—	—
外貨準備高（百万ドル）	8,049.0	8,304.4	8,403.5	8,674.4
外国からの送金（百万ドル）	9,510.2	—	—	—
為替レート（対ドル月平均）	25.42	25.68	25.74	25.83

（出典：ホンジュラス中央銀行）

（了）